

平成30年度 第2回浜松市障がい者基幹相談支援センター研修会

共催：浜北区障がい者自立支援連絡会

事例検討のすすめ方 ～活発な意見が出る事例検討のコツ～



事例検討会を開催しました。

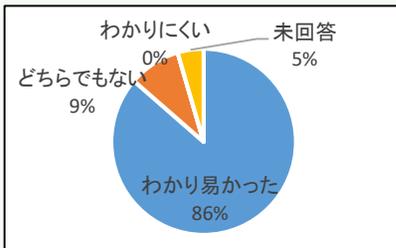
平成30年8月20日（月）浜北区障がい者自立支援連絡会共催のもと、浜北区内の福祉サービス事業所および関係機関等に従事する職員の方を対象に、地域全体のつながりを深め、地域支援力のボトムアップを図ることを目的とした事例検討会を開催しました。

講師に平野慎一郎氏（医療法人好生会小笠病院）をお招きし、『事例検討のすすめ方～活発な意見が出る事例検討のコツ～』をテーマにご登壇いただきました。会議で良くある現象として、「無駄に時間が長く、何も決まらない」「ある特定の人の意見で左右されてしまう」「書類を読み上げているだけ」などの課題点があるなかで、ファシリテータとして心がけることについて、「自由に発言しても良いという雰囲気作りに徹すること」「時間管理について、意識をすること」「常に参加者に問うこと」「意見が出ないからと言って自分が喋り過ぎないこと」などが必要であるとお話しをいただきました。また、ホワイトボードを活用した『野中式事例検討』の方法についても学び、第2部では実際に野中式を用いた事例検討会を開催しました。参加者のなかには、事例検討の場に触れる機会が少なかった方もおりましたが、所属先でも使える手法について学ぶことができたと思います。



参加者アンケート（概要） 参加者：24名 回答：22件（回収率92%）

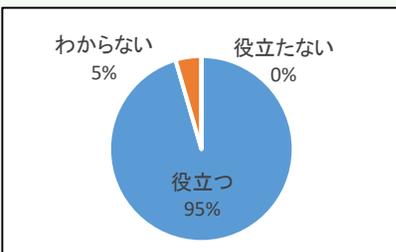
講義の内容



《自由記述（一部抜粋）》

- ・ 講義と実践の2部構成となっため、理解が深まった。
- ・ 事例検討では1人で考えられない意見が多くあがった。支援者の考え方によってアイデアは多様であると感じた。
- ・ 講師の話し方、雰囲気作りが上手く、説明もよりスムーズと入ってきた。

業務への活用



《自由記述（一部抜粋）》

- ・ すぐに事業所内で実施できる技術を学ぶことができた。
- ・ 知恵を出し合う大切さを実感した。
- ・ いつも事例検討会には緊張感が大きかったが、本日の検討会は明るく前向きに感じられた。